

会議・協議等記録簿

環境政策課 環境保全係

議 題	第 1 回佐久市生物多様性専門家会議		
日 時	令和 6 年 5 月 2 3 日 (木) 13:30~14:30	場 所	オンライン会議
出席者	委 員：出席 6 名、欠席 1 名 事 務 局：環境政策課長、環境保全係長、環境保全係、耕地林務課林務係		
会 議 ・ 協 議 等 事 項			
<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) 佐久市環境政策課から今年度の予定について</p> <p>ア 今年度の専門家会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回は 9 月 1 8 日 (水) 中間報告を兼ねて現地視察 ・ 第 3 回は令和 7 年 1 月 1 6 日 (木) 佐久市役所で開催予定 <p>イ 令和 6 年度の調査地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査地は昨年度 1 0 ヶ所から今年度 6 ヶ所に絞って調査を実施する ・ 植生回復柵は通年で設置する予定である ・ 今年度新規の調査としてタイムラプスカメラを設置する ⇒ 5 月から 1 1 月まで月ごとに分析 1 日に 2 回、9 時と 1 5 時に撮影する カメラの台数は 5 台 ・ センサーカメラは静止画以外にも動画データも撮影する ⇒ 昨年度は 1 0 台でしたが、今年度 1 5 台に増やして設置する ・ ライトセンサスは 5 月から 1 2 月の間、月 1 回実施する ⇒ 5 月 2 1 日 (火) 1 9 時 3 0 分から 2 1 時 2 0 分 天候等：晴れ、気温 1 2 度 (終了時刻時) 風：無風から微風 シカの頭数：3 8 0 頭程度 <p>ウ 啓発活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性の認知度・理解度の向上を図るために、7 月 7 日 (日) に市民向け講座を行う ・ 講師には、小泉氏、麻布大学の塚田氏、佐久市からはこれまでの生物多様性の事業内容と今後の展開の他、考古学の学芸員による佐久地域の遺跡から見える原始・古代の狩猟というテーマで講演を行う予定である ⇒ 現地参加が難しいので、オンライン対応も検討していただきたい <p>エ 担い手育成講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 座学と実技を交えた講座を想定しているが、一般の方も参加できるような形式 			

会議・協議等記録簿

環境政策課 環境保全係

にしていきたいと考えている

- ・ 時期は、10月～11月頃を予定

オ その他

- ・ 昨年度見つかったツキヌキソウの保護、特定外来植物のオオハンゴンソウの駆除については、地域振興局や環境保全研究所と情報共有しながら進めていく

(2) 佐久市地域振興局から今年度の予定について

ア 捕獲対策について

- ・ 鳥獣被害防止総合対策推進交付金（くくり罠の確保）で佐久市分について、昨年度420基から令和6年度455基の要望があった
- ・ 有害鳥獣駆除対策は捕獲に対して補助金を交付する
⇒昨年度1,980頭だったが、令和6年度は2,600頭の要望があった
- ・ 県単独事業はくくり罠錯誤捕獲対応支援、新規の銃砲所持取得支援

イ 調査について

- ・ 昨年度、大河原峠の山腹が崩壊している場所について
⇒シカが原因で崩壊が発生しているのではないかという現場があるので、その現場にピンポイントでセンサーカメラ2～3台設置し、シカ道やシカの食害の後、林地にどのくらいのダメージを与えているのか、令和6年度調べる予定である

ウ 普及啓発について

- ・ ニホンジカだけでなく、森林の生態系、森林の公益的機能全般を対象としまして森林環境教育的なものを実施したい
⇒日程・内容等は未定である

(3) 防災科学技術研究所から今年度の予定について

ア シカの被害による潜在的災害リスク

- ・ 下層植生がしっかり存在している比較的健全な状態である森林と、下層植生が全くなくなっていて表土が露出している森林があるが、この違いによって、災害リスクが変わっているのではないかとところが懸念されている
⇒要因として、ニホンジカの食害の可能性があるのではないかと、結果として土砂災害の発生する可能性がどう変化していくのかを着目している

イ 佐久市との連携事業について

- ・ 昨年度の調査地4および調査地7にカメラや雨量計、水センサーを設置した
⇒水センサーは電波が不安定
⇒雨量計とタイムラプスカメラについては、設置したタイミングではあまり大きな雨が降らなかったため、想定していたような状況の撮影ができなかった
- ・ 今年度も継続していくが、令和元年度東日本台風の時にどこでどのような災害が起こったのか、地域の住民の視点でまとめた地域防災マップをデジタル化を

会議・協議等記録簿

環境政策課 環境保全係

して土砂災害ハザードマップを重ね合わせて、ハザードマップに載っていない場所で災害が起こっていることが分かったので、実際にそういう場所がどうなったのかを調査しようと思っている

(4) 佐久市耕地林務課から今年度の予定について

ア 予算について（拡充）

- ・令和5年度は有害鳥獣の駆除委託を猟友会を通じて行っているが、シカとイノシシ合わせて2,000頭を令和6年度は2,600頭とし、猟友会に駆除していただく予定である
- ・小諸佐久立科有害鳥獣防止総合対策協議会でくくり罠の補助金を使用して昨年度455基を購入したが、令和6年度も455基を購入予定である
⇒一部クマがかかりづらい錯誤捕獲が発生しづらいくくり罠に変更したので、予算も微増している

イ 予算について（継続）

- ・「有害鳥獣処理委託料」は、佐久市で捕獲されたシカやイノシシ等の有害鳥獣を駆除業者に処理していただく委託料
- ・「デジタル無線機電波利用料」は、猟をする際に使用するデジタル無線の使用料
- ・「新規狩猟免許取得者等補助金」

ウ 予算について（新規）

- ・令和6年度に新規で「シカの捕獲檻導入」、「サル生息状況調査」の事業を行う

エ 猟友会等との連携

- ・ニホンジカ捕獲駆除委託業務
⇒望月地区に場所を変更して実施
- ・立科町猟友会との合同駆除
⇒合同駆除回数や人員の増加を猟友会と協議をしている
- ・わな猟講習会
⇒内山地区での講習会に加え立科町との合同わな講習会を追加実施
- ・猟友会駆除委託件数
⇒2,600頭に増加

4 閉会